

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 26日

事業所名 ほたるぼし

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	広いスペースを確保しています。	・清潔、整頓が行き届いた環境作りをします。
	2	職員の配置数は適切である	0%	100%	他事業所からの応援体制があります。	・計画的な人材雇用を行っていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	67%	33%	児童に合わせた家具類の配置をしています。	・放課後等デイサービスとの併設のため、机やいすなど児童の体格に合わせて複数の大きさを準備しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	毎日の清掃・消毒を行っています。	清潔で安全な環境を提供いたします。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	67%	33%	月に1回ミーティングを行っています。	・非常勤を含めた全職員が参加できるように取り組んでいきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	年間計画の策定に活用しています。	・意見を基にした行事や親睦会の企画を実施していききたいと思います。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	法人のホームページ上で公開します。	・自己評価の結果を受け止めて業務改善を行っていきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	33%	67%	現在までのところ外部評価を活用したことはありません	・府の指示に従って、活用・検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	33%	67%	・法人内研修がある	・専門性に合わせた研修の実施
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	0%	100%	児童発達支援管理責任者が不在のため、代理が作成している。	・児発管の不在の解消。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	33%	67%	特別なツールは導入していません。	・アセスメントツールの選定と活用。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	個別支援計画に取り入れています。	・必要に応じ支援内容の見直しを行っていきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	67%	33%	法人のPTやOTと意見交換をして支援プログラムの見直しをしています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	起案は担当が行い、会議で全職員の意見を取り入れています。	・SSTや感覚統合など専門性の向上を目指します。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	児童毎の特性に合わせたプログラムの実施	・利用者の情報を共有しながら、プログラムの設定をしています。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	個別活動と集団活動それぞれを設定しています。	・より質の高い支援のための研鑽に努めます。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	67%	33%	支援開始前にミーティングを行っています。	・PDCAを重ね、モニタリングや個別支援計画の作成時に活用していきます。
	18	67%	33%	一日の振り返りとして終礼を行っています。	・非常勤職員は終礼に参加していないため、申し送りノートの活用等工夫しています。
	19	100%	0%	職員の人れ替わりがあり、記録するポイントについて周知していない点があります。	・日々の記録を参考に、支援方法の改善と支援計画の見直しに活用しています。
	20	100%	0%	日々、口頭での情報共有を行いながら意向の確認を行っています。	・定期的に、また必要に応じてモニタリングを行い、個別支援計画の見直しをしていきます。
関係機関や保護者との連携	21	67%	33%	・責任者が出席しています。	・他事業所との連携を密にし、包括的、連続性のある支援の提供に尽力します。
	22	0%	100%		
	23	33%	67%		・対象者無し。
	24	67%	33%		・対象者無し。
	25	0%	100%	現在のところ関りは持っていません。	・必要に応じて各関係機関との連携を取っていきます。
	26	0%	100%	現在のところ関りは持っていません。	・必要に応じて各関係機関との連携を取っていきます。
	27	0%	100%	現在のところ関りは持っていません。	・専門機関に限らず、研修には積極的に受講を薦め、職員の育成に活用していきます。
	28	0%	100%	現在交流の機会を持っていません。	・将来的に近隣の保育所との交流機会を作れるよう検討します。
	29	0%	100%	現在参加できていません。	・町との相談の上、必要に応じて参加していきます。
	30	100%	0%	送迎時等に、日々の情報共有を行っています。	・ニーズを捉え、生活と連続した個別支援計画の設定を行います。
31	0%	100%	相談に応じて行います。	・法人の専門職と協働しつつ対応させていただきます。	
32	100%	0%	契約時に説明を行っています。	・契約時以外でも、不明点や確認したいことがあれば随時対応いたします。	
33	100%	0%	定期的にモニタリングを行い、支援計画について説明を行っています。	・支援計画の原案を基に保護者に説明を行い、ご意見を取り入れた上で本案を作成しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	児童と保護者双方に対して助言と支援を行います。	・相談内容に応じてチームで検討し、対応させていただきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	コロナ禍以降中断しています。	・今年度から親睦イベントの再開を目標にしています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情・相談窓口を設置してあります。	・ご意見を真摯に受け止め、誠実に対応させていただきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0%	100%	法人の年間レポートがあります。	・月間予定については毎月のカレンダーでお知らせします。その他イベント等は都度案内をします。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	個人情報書類は鍵付きの部屋にて保管しています。	・個人情報の持ち出し、漏洩が無いよう管理をしています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	67%	33%	絵カード等活用し、児童の特性に合わせた支援をしています。	・聞き取りシートを配布しています。児童の好きな感覚や細かな好みを保護者の方と共有しながら支援を行います。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	33%	67%	現在のところ地域住民を招待した実績はありません。	・高齢者福祉施設と併設しているため、利用される高齢者とイベント等での関りがあります。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	33%	67%	法人のマニュアルがあります。	・職員への周知を進めていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年2回の避難訓練を実施しています。	・昨年度は児童が参加できていないので、参加していただける形に改善していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	入所時に聞き取りを行っています。	・変更点や情報の更新があった場合は、保護者さま側から申し出いただけるようお願いしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	保護者に確認を取って対応しています。	・入所時、および年度の切り替わり時に聞き取りシートを配布します。また保護者と連絡を取りつつ安全に配慮して参ります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	終礼での振り返りで事例を収集、対策の検討をしています。	・事例集を参考に、職員の教育や環境整備に活用しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	虐待防止委員会を設置し、年間計画にの取って研修会を行っています。	・虐待等不適切な対応が無いよう、職員向けに事例検討や研修会を行います。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	67%	33%	現状身体拘束が必要な児童がいません。	・必要があると判断された場合、身体拘束適正化委員会で検討する予定です。その上で身体拘束を行う場合は制度に従った対応をいたします。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。